

令和8年国立市議会第2回定例会

行政報告

おはようございます。

皆様のご出席をいただき、第2回定例会が開会されますことに対し、深く感謝申し上げます。

ただいま全国市議会議長会から永年勤続議員として表彰をお受けになられました藤江竜三議員、稗田美菜子議員、望月健一議員及び小川宏美議員の永年のご功績に対し、敬意を表しますとともに、心よりお祝い申し上げます。

それでは、3月定例会以降の行政執行の主なものについてご報告いたします。

初めに、政策経営部関係です。

ソーシャル・インクルージョン推進計画についてですが、3月に計画を策定いたしました。

引き続き国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例に示す、ソーシャル・インクルージョンの理念の下、人権・平和のまちづくりを総合的に推進してまいります。

次に、平和首長会議多摩地域平和ネットワーク会議についてです。5月26日に令和8（2026）年度第1回市長会議を開催し、引き続き国立市が会長市として承認され、会議運営を行っていくこととなりました。今後も多摩地域26市が連携し、平和文化の振興に向けた取組を進めてまいります。

次に、第5期基本構想第3次基本計画及び行財政改革プラン2029についてです。パブリックコメントや市議会議員の皆様からのご意見を踏まえ、3月に計画を策定いたしました。

引き続き基本計画に基づく行政運営を行うとともに、行財政改革プランに基づく行財政改革を推進してまいります。

次に、物価高騰対応食料品等支援事業についてです。物価高騰の影響を受ける市民に対し、食料品等の購入費用を支援するため、1人3,000円分のギフトカードを5月1日から順次発送いたしました。また、令和7（2025）年度住民税非課税世帯又は均等割のみ課税世帯につきましては、追加で世帯当たり2,000円分のギフトカードの発送を行いました。5月末までに約7割の方への配達が完了しておりますが、まだお届けできていない方への対応を含め、引き続き必要な対応を続けてまいります。

次に、行政管理部関係です。

富士見台四丁目自転車保管場所跡地についてですが、2月27日に執行いたしました市有地売却一般競争入札において、1億6,394万458円で落札した（株）飯田産業と4月23日付で土地売買契約を締結いたしました。

なお、本定例会に関連する補正予算案を提案させていただいておりますので、よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

次に、第4期特定事業主行動計画についてです。次世代育成支援対策推進法及び女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、子育てや介護等により時間的制約等がある職員や女性職員の活躍を推進してくため、3月に計画を策定いたしました。

引き続き、職員が働きやすい職場環境づくりを推進してまいります。

次に、窓口受付時間の短縮についてです。市民サービスの品質向上、職員の働き方改革や業務効率化を目的に、試行実施として、4月1日から本庁における窓口受付時間を午前9時

から午後4時30分に短縮いたしました。

窓口時間については引き続き検証を行い、本格実施に向けた検討を進めてまいります。

次に、令和7（2025）年国勢調査についてです。市における調査票の審査が終了し、東京都に提出しておりましたが、5月29日に国立市の人口速報値は76,587人であることが国から公表されました。

国勢調査の実施にあたり、市民の皆様にご協力いただきまして、心より感謝申し上げます。

次に、コンビニエンスストアでの証明書10円交付についてです。3月1日から開始し、4月30日までの2か月間で、前年の同時期に比べ55.0%増の7,779枚の証明書を交付いたしました。本取組の成果を踏まえ、更なる市民サービス向上及び職員の負担軽減に向けた検討を進めてまいります。

次に、健康福祉部関係です。

低所得世帯に対するエアコン購入費助成事業についてですが、東京都の「低所得世帯向けエアコン設置緊急支援事業」を活用し、5月から事業を開始いたしました。5月末までに16

世帯から相談を受け、8世帯から申請をいただき、5世帯に助成金の交付決定を行いました。

次に、第3次健康増進計画についてです。令和8年第1回定例会福祉保険委員会で計画案を報告し、3月に計画を策定いたしました。令和18（2036）年度までの計画で、子どもから高齢の方までの生涯の健康づくりを支える計画として、推進してまいります。

次に、スマートウェルネスシティ首長研究会への参加についてです。5月28日に新潟県見附市で開催された第34回研究会に出席し、国立市における健幸・つながりのまちづくりについて事例発表を行うとともに、少子高齢化を見据えたハード・ソフトの一体的なまちづくりについて、全国の首長と意見交換を行いました。

次に、子ども家庭部関係です。

幼稚園フェアの開催についてですが、未就学児童の保護者に対して、各園の教育方針や取組の紹介を行い、入園に関する情報などを事前に提供することにより、保護者の幼児教育への理解と入園希望者の拡大を目的として、市内私立幼稚園、

認定こども園が一堂に会して、6月6日に矢川プラスにおいて実施しました。

フェア当日は、多くの保護者や子どもの参加があり、各施設でパネルや端末を使った写真展示やパンフレットなどを活用して、保護者の方々の様々な質問等にお答えいただきました。

次に、生活環境部関係です。

第49回くにたちさくらフェスティバルについてですが、4月4日から5日にかけて谷保第三公園で開催されました。当日は、ミニSLの試乗体験、各種団体による出店や企画のほか、特設舞台では歌やダンスなどが披露され、多くの来場者でにぎわいました。

次に、くにたち駅100周年記念祭についてです。4月18日・19日に旧国立駅舎及びその周辺で開催されました。谷保の伝統芸能、市内学校の児童・生徒・学生や市内団体による演奏やダンス、観光大使らのスペシャルライブが行われた特設ステージをはじめ、鉄道や駅関連の企画、市内商店の出店による企画などがあり、2日間とも大変多くの方にご来場いただき、大いに盛り上がりました。

次に、LINKくにたち2026についてです。5月10日に大学通りでのスポーツ参加・体験イベントとして、3時間耐久リレーマラソンや、各種スポーツ体験コーナーなどを実施いたしました。特設舞台では、市内の中学・高校・大学生による合唱、吹奏楽の演奏やダンスの披露なども行われました。

また、商工会青年部による市内商店の出店ゾーンなどもあり、市内外から多くの方が訪れました。

次に、国連大学訪問スタディーバスツアーについてです。市内に在住、在学の中学生・高校生の国際理解を深めることを趣旨として、3月26日に国連大学への訪問学習事業を実施し、15名の中学生・高校生に参加いただきました。また、企画、運営にあたっては国連大学協力会のご協力をいただき、貴重な学びの場となりました。

次に、第3次国立市循環型社会形成推進基本計画についてです。1月に第14期国立市ごみ問題審議会から答申をいただき、4月に計画を策定いたしました。本計画を指針とし、引き続き循環型社会の形成に向けたごみの減量及び資源化施策に努めてまいります。

次に、都市整備部関係です。

東京における都市計画道路の整備方針についてですが、都市計画道路を計画的、効率的に整備するため、東京都と特別区及び26市2町が協働で、新たな方針を策定し、3月30日に公表いたしました。

次に、富士見台地域のまちづくりについてです。富士見台地域における一体的な土地利用の方向性を検討するため、5月20日に「第1回国立市富士見台地域重点エリア検討会議」を開催し、委員5名及び傍聴者9名の参加がありました。当日は、市役所周辺と団地が交わる富士見台地域重点エリアにおける大切にしたい考え方について、委員による意見交換を行いました。

また、5月27日に「第7回団地の再生（建替え）を考える座談会」を開催し、15名の方に参加いただきました。UR都市機構・団地自治会・国立市が連携し、「重点エリアでこれからの国立富士見台団地とまちの関わりを考えよう！」をテーマに住民の方々と議論を行いました。

次に、国立駅南口駅前広場整備についてです。デザインの

イメージを共有するため、3月29日に説明会を実施いたしました。当日は28名の参加があり、様々なご質問やご意見をいただきました。また、4月19日には説明会と同じ内容をパネルで紹介する駅前報告会を行うとともに、4月20日から24日にかけては旧国立駅舎の広間においてパネル展示を行いました。

次に、下水道事業経営戦略についてです。全国的に物価上昇の継続や老朽化による道路陥没事故の発生など、下水道事業を取り巻く環境が大きく変化していることから、これらの社会情勢の変化に対応し、持続可能な下水道事業を目指すことを目的に、3月に経営戦略を改定いたしました。

次に、教育委員会関係です。

朝の子どもの居場所確保事業についてですが、5月7日から国立第八小学校において、朝早く登校する児童が安心して過ごせる居場所の提供を試行的に開始いたしました。平日の朝7時30分以降に登校した児童を対象に実施しており、5月末までに延べ54名の利用がありました。

次に、令和7（2025）年度卒業式及び令和8（2026）年度入

学式についてです。市内公立小中学校の令和7（2025）年度の卒業生は、中学校生徒が420名、小学校児童が544名となり、それぞれが期待を胸に新たなステージへ旅立ちました。

また、令和8（2026）年度の新入生は、中学校生徒が450名、小学校児童が511名で、これから始まる学校生活に期待を抱き、新たな一步を踏み出しました。

次に、第1回モルックくにたちカップについてです。3月21日に、谷保第三公園でフィンランド発祥の競技であるモルックを楽しむ大会を開催しました。当日は、くにたちエールにも協力を頂き、小学生から高齢者まで、全32チーム、合計122名の参加者が、お互いに交流しながら競技を楽しみました。

次に、公民館70周年記念事業についてです。令和7（2025）年度実施した記念イベントの記録等をまとめた記念誌を、3月に発行いたしました。また、同月に公民館入口のガラス面に、公民館を象徴する新たなデザインやメッセージを掲示するリニューアルを行いました。

次に、中央図書館2階児童室及び1階YAコーナーのリニュー

アルについてです。東京都の子供の遊び場等整備補助金を活用し、3月に中央図書館のフロアのリニューアルを行いました。2階児童室では、椅子やマット、絵本にまつわるぬいぐるみ等を購入し、くつろいで読書を楽しめるスペースを設けるとともに、1階YAコーナーでは、机や椅子を購入し、個別で使える席を増やすことで、学習や読書をしやすい環境を整えました。

さて、JR南武線矢川駅北口駅前広場における桜の倒木についてですが、4月9日の午前5時30分頃に発生いたしました。幸い通勤・通学時間帯前であったことから、道路利用者及び車両への被害はございませんでした。当日は立川警察署、立川消防署及び市内造園業者にご対応いただき、午前9時までには全ての処理を完了することができました。桜の倒木により、多大なご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

桜の倒木を受けた対応につきましては、早急に対応方針をとりまとめるとともに、市が管理する樹木について、国土交通省のガイドライン等に基づき、職員による目視点検を実施いたしました。また、矢川通りの桜については、過去の街路樹診断において、幹や根株の空洞率が50%以上となっていた

12本のうち、5本を5月末までに伐採いたしました。

引き続き、老木化による倒木の防止に向けた対応を実施してまいります。

終わりに、本定例会には、令和8年度国立市一般会計補正予算案等8議案、報告事項4件を提出させていただいておりますが、「国立市農業委員会委員任命の同意について」の人事案件10件につきましては、準備が整い次第追加提出させていただきます。

また、市が管理する樹木の診断・整備等に関する補正予算案につきましては、準備が整い次第追加提出させていただきますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます、行政報告といたします。

令和8年（2026年）6月8日

国立市長 濱崎 真也